

3月

新着本の紹介



青字は児童書

書名	著者名	内容
灰の劇場	恩田 陸	「飛び降り2女性の身元わかる」という三面記事。私は確かにそのふたりを知っていた。もっとも、私はそのふたりの顔も名前も知らない…。恩田陸の新境地となる、“事実に基づく物語”。
刑事の枷	堂場 瞬一	この男、決して折れない。身内を密告した嫌われ者×恐れ知らずの新米刑事署内で孤立する刑事が頑なに固執する「ある事件」とは!? 作家デビュー20周年をむかえる警察小説の名手、渾身の最新刊!
ラスプーチンの庭	中山 七里	中学生の娘を病院に見舞った警視庁捜査一課の犬養隼人は、友人の庄野祐樹という少年を知る。長い闘病生活を送っていた祐樹だったが、突如退院することに。1カ月後、祐樹は急死。犬養は告別式に参列するが、やがて〈ナチュラル〉という民間医療団体に行き当たるが―。民間療法の闇を描き、予想外の結末が待つシリーズ待望の最新作!
元彼の遺言状	新川 帆立	「僕の全財産は、僕を殺した犯人に譲る」という遺言状を残して、大手製薬会社の御曹司が亡くなった。学生時代に彼と交際していた弁護士剣持麗子は、「犯人選考会」に参加し、依頼人を犯人に仕立て上げようと奔走するが…。 第19回『このミステリーがすごい!』大賞
犬がいた季節	伊吹 有喜	ある日、高校に迷い込んだ子犬。生徒と学校生活を送ってゆくなかで、その瞳に映ったものとは―。昭和から平成、そして令和へ。いつの時代も変わらぬ青春のきらめきや切なさを描く。 2021年本屋大賞 ノミネート作
お探し物は図書室まで	青山 美智子	悩める人々が立ち寄った小さな図書室。不愛想だけど聞き上手な司書さんが、思いもよらない選書と可愛い付録で人生を後押ししてくれて…。明日への活力が満ちてくる、書き下ろしハートウォーミング小説。 2021年本屋大賞 ノミネート作

この本を盗む者は	深緑 野分	書物の蒐集家を曾祖父に持つ高校生の深冬は本が好きではない。蔵書が盗まれ、本の呪いが発動し、街は物語の世界に姿を変えていく。泥棒を捕まえない限り元に戻らないと知った深冬は…。 2021年本屋大賞 ノミネート作
52ヘルツのクジラたち	町田 そのこ	自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる。 2021年本屋大賞 ノミネート作
自転しながら公転する	山本 文緒	東京で働いていた32歳の都は、親の看病のために実家に戻り、近所のモールで働き始めるが…。結婚、仕事、親の介護、ぐるぐる思い惑いながら幸せを求める姿を描く。 2021年本屋大賞 ノミネート作
ぜったいにおしちゃダメ？ ラリーとおばけ	ビル・コッター	ルールは1つだけ。それはこの赤いボタンをおしちゃダメということ。このボタンのことを考えてもダメだよ。できるかな？ あれ、電気が消えちゃった？ まっくらだ。ボタンをおして、早く電気を…。とにかく笑える愉快的絵本。
アンパンマンをさがせ！ ミニ BLUE	やなせ たかし	料理コンテストの会場、いろいろな生き物がいる水族館、みんなが待ちに待った音楽会…。アンパンマンといっしょに、仲間たちや、いろいろなものをさがそう！間違いさがしも載っています。

【お知らせ】

新しい雑誌を配架しました！

- NHKテレビテキスト「囲碁講座」 ■「すてきにハンドメイド」
- 「ESSE」

